

All Miyazaki体制で臨床研修イベントを実施しました!!

All Miyazaki
イベント1

宮崎大学医学部生対象マッチング登録説明会& 臨床研修病院合同説明会が開催されました!

令和7年6月6日(金)に宮崎大学医学部にて、宮崎大学医学部及び宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会の合同主催による「マッチング登録説明会&宮崎県内基幹型臨床研修病院合同説明会」が開催され、本学医学部6年生91名と、1年生から5年生までの地域枠学生19名が参加しました。

第一部で宮崎大学医学部医療人育成推進センターの小松教授からマッチング日程と登録方法の説明が行われ、第二部で県内8基幹型臨床研修病院(県立宮崎、県立日南、県立延岡、古賀総合、宮崎生協、藤元総合、宮崎市郡医師会、宮崎大学)から各臨床研修プログラムの説明が行われました。各病院の指導医の先生や研修医が、準備したスライドや映像を用いて、参加した学生に熱心に説明されていました。

説明会終了後には、各研修病院個別説明の時間が設けられ、参加した学生が興味のある研修病院のブースに赴き、気になる質問や相談を行っていました。



All Miyazaki
イベント2

レジナビフェア福岡&東京に出展しました!

令和7年5月18日(日)に福岡、令和7年6月29日(日)に東京でレジナビフェアが開催されました。All Miyazakiブースも出展し、宮崎大学医学部附属病院も参加してきました!

福岡会場では小松卒後臨床研修センター長と研修医の先生2名、東京会場では研修医の先生4名が参加し、それぞれの会場で学生からの質問に答えたり、本院プログラムについての説明を行いました。

福岡では15名、東京では14名の学生さんが本院ブースを訪れて下さり、All Miyazakiブース全体も大変賑わいました。宮崎に縁もゆかりもない学生さんの来訪も多く、本院プログラムについて紹介する非常に良い機会となりました。

今回宮崎県ブースを訪れた学生さんには、ぜひとも病院見学をご検討いただくと幸いです。



「なんでも掲示板」 原稿募集!

宮崎市伝説、失敗リカバリー談、研修あるある話など、研修に係わる話ならなんでも原稿募集中です!

連絡先 宮崎大学医学部 医療人育成課 卒後臨床研修係
内線2385/2386

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL0985-85-1864 FAX0985-85-0693
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp



宮崎大学

卒後臨床研修センター通信

Vol.49
令和7年7月発行

発行：卒後臨床研修センター

日南海岸(日南市)

今年も「内科学 はじめの一步」が始まりました!

卒後臨床研修センターでは、内科系教員が世話人を務め、主に毎月第4月曜日の夕方に勉強会「内科学はじめの一步」を開催しています。内科の各診療科のエキスパートの先生方に、バラエティに富んだ内容で講義などをお願いしております。令和7年度は①開始時刻を30分前倒しし17時30分から開始、②座学は30分×2コマ・ハンズオン(腹部エコーなど)は60分×1コマで実施…という2つの変更を行いました。飛び入り参加OKの内容もあれば、事前予約制の回もあります。内科を志している研修医、興味がある研修医、現在内科をまわっている研修医のみさんの参加をお待ちしています!



(参考) 昨年度実施時の写真

「はじめの一步」令和7年度開催スケジュール

日付	担当診療科	内容
令和7年6月30日①	膠原病内科	「発熱」
令和7年6月30日②	呼吸器内科	「抗酸菌感染症」
令和7年7月28日①	血液内科	「貧血の診方」
令和7年7月28日②	内分泌内科	「糖尿病診療」
令和7年8月25日	《以下、開催予定テーマです(日時未定)》	
令和7年9月29日	腎臓内科	「透析患者のトリセツ」
令和7年10月27日	肝臓内科	「ウイルス性肝炎」
令和7年11月24日	循環器内科	「心エコーハンズオン」
令和7年12月22日	脳神経内科	「神経診察」
令和8年1月26日	消化器内科	「腹部エコーハンズオン」
令和8年2月23日	感染症内科	「感染症診療」
令和8年3月23日	and more...	

宮崎大学医学部附属病院臨床研修プログラム説明会&研修医との何でも相談・懇親会を開催しました!



令和7年6月23日(月)に、卒後臨床研修センターの企画として「宮崎大学医学部附属病院 臨床研修プログラム説明会&研修医との何でも相談・懇親会」を開催しました。本企画は、本学医学部生に卒後臨床研修プログラムへの理解を深めてもらうことを目的に立ち上げ、今年2月に続いての開催です。卒後臨床研修センターのセミナー室で17時より開始。事前申込の学生5名に加え、有志の研修医6名、センター教員4名が参加しました。

まず冒頭では、宮内卒後副センター長より、宮崎大学の臨床研修プログラムの概要について10分ほどの説明があり、参加者全体で共通理解を深めました。その後は、教員・研修医・学生がテーブルごとに分かれ、自由に懇談・相談ができるグループ形式の交流を実施。「若手医師の言葉の方が学生の心に届きやすい」との考えのもと、研修医が主体となって語る場を重視しました。約30分間のグループ懇談では、研修医のリアルな体験談や、学生からの率直な質問・相談が飛び交い、非常に活発で印象に残るひとときとなりました。

軽食や飲み物を楽しみながらの交流はあっという間の60分。参加した学生たちにとって、自らの将来を考えるよいきっかけとなれば幸いです。

令和7年度 宮崎県専門研修プログラム合同説明会及び交流会が開催されました。

令和7年7月12日(土)に宮崎観光ホテルにて、宮崎県専門研修プログラム合同説明会及び交流会が開催されました。本説明会及び交流会は、研修病院・県行政・県医師会で構成する宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会が主催するイベントです。

まず宮崎県医師会の大塚理事から開会挨拶があり、その後宮崎大学医学部附属病院医療人育成推進センターの小松教授から新専門研修プログラムの概要説明、各専門研修プログラムの概要説明と進んでいきました。休憩をはさんで、各ブースでの個別相談の時間となり、ブースに待ち構える先生方が前半のプレゼンテーションで伝え切れなかった内容を伝えるべく、資料、身振り手振り、そして笑顔を交えて情報提供を行っていました。

本企画が未来の専門医育成につながっていくことを祈念いたします。



特集!

宮崎大学研修医の 素敵な週末の過ごし方

宮崎100km リレーマラソンに参加しました!

寄稿者：2年次研修医 濱砂百華

今年も早いもので、半年が過ぎようとしています。そんな中、令和7年6月7日(土)に宮崎市臨海公園で開催された「宮崎100kmリレーマラソン」に、「チームSotsugo」として宮大2年次研修医14名で参加しました。研修医生活も2年目を迎え、各々が将来の進路を意識し始めてきた今日この頃ですが、「同期との思い出もたくさん残していきたい」という想いも次第に強くなり、陸上経験者の同期の一声で、今回リレーマラソンに参加する運びとなりました。大会の内容は、1周2kmのコースを計50周、リレー形式でつなぎ、9時間以内の完走を目指すというものでした。これだけ聞くと、それほど難しくないように思えます。私たちが最初は、「あんまりよく分からないけれど、普通に達成できるのでは?」と高を括っていました。しかし現実はその甘くはありません。このタイムで完走するという事は、1kmあたり5分30秒を切るペースで走り続けなければならない、ということです。普通のジョギング程度では到底達成できない速さでした。しかも挑戦するのは、社会人になってから運動なんてほとんどしていないアラサー軍団。「自分たちはとんでもない企画に手を出してしまったのではないかな……」と思いつつも、エントリーしてしまったものは仕方ありません。大会の約1か月前から、仕事終わりの特訓が始まりました。最初は2、3人で行っていた練習も、気づけばほとんどのメンバーが代わる代わる参加してくれるようになり、それぞれが本番に向けて着実に実力をつけていきました。そして迎えた本番の日。梅雨だというのに天気は見事に晴れ、幸先の良いスタートとなりました。走順は当日のコンディションや実際のタイムを見ながら決

めることにしていましたが、重要と思われた第1走者は、なんと男性メンバーの中からくじ引きで決定してしまいました。当日いきなり第1走者となってしまったMさんでしたが、他チームの熟練走者達に負けることなく、想像以上に速いタイムで戻ってきてくれました。そこからタスキリレーの開始です。いざ始めてみると、本番前までは目標タイムを達成できるか不安がっていたメンバーたちが、続々と自己記録を更新していきます。人間の底力とは、恐ろしいものだと改めて実感させられました。そのような皆の頑張りのおかげで、順調にレースは進んでいきました。午後からは日差しが強い時間も多くなり、気温も高かったため、塩分・水分補給などの熱中症対策も入念に行いました。走った後のメンバーは皆で迎えに行き、クーリングなどのサポートも欠かしません。これぞチームワーク、チーム医療です。おかげで、最後まで誰一人体調を崩すことはありませんでした。そして迎えたラスト1周。最終走者となったのは、大会参加の発案者でありチームのエースでもあるKさんです。疲労を感じさせない軽快な走りでゴール地点に現れた彼を皆で迎え、全員でゴールテープを切ることができました。この大会を通して、決して簡単とは言えなかった目標を達成するために、皆で励まし合い、支え合いながら頑張ってきたことが何よりも貴重な経験になったのではないかと思います。ちなみに当日は、焼肉でしっかり打ち上げりました。今までの人生で、こんなに美味しい焼肉は他にないかと本気で思いました。長くなってしまいましたが、大会レポートはここまでになります。お付き合いいただき、ありがとうございました。



第1回 宮崎県研修医ゴルフコンペ開催!

寄稿者：2年次研修医 野元奏希(ゴルフコンペ幹事)

令和7年1月5日(日)に、「第1回宮崎県研修医ゴルフコンペ」を開催しました。現在、研修医として働く中で、将来自分の専門外の分野で分からないことがある際に気軽に聞ける他科の同期や先輩の存在が欲しいと常々思います。そこで、大学病院だけでなく県内の基幹型臨床研修病院間での研修医同士の繋がりを作る場を設けることで、これからの自分自身の仕事に生きていくのではと考えました。今回は、趣味としてプレーしている人が多いゴルフでの交流を考え呼びかけたところ、宮崎県内の1・2年次研修医14名(宮崎大学医学部附属病院5名、県立宮崎病院7名、古賀総合病院1名、県立延岡病院1名)が参加して下さるようになりました。



当日は4組に分かれ、最高の天気の中で皆さん和気あいあいとプレーしていました。参加した研修医からは、「他の病院の研修内容を聞いて良かった」、「今後の進路相談ができた」といった声もあり、仕事の話だけでなく結婚などの人生相談もでき、有意義な1日となりました。いちおう競技形式でしたので、「優勝」、「飛び賞」、「ブービーメーカー賞」、「ニアピン賞」なども設定して行い、優勝者は瀬ノ口敬斗先生(現・宮崎大学内科専門プログラム・呼吸器内科)でした。

7月13日(日)には、学生と研修医の交流の場として20名規模での第2回ゴルフコンペを企画いたしました。ゴルフを楽しむのはもちろん、研修病院の選び方や国試の勉強法を聞ける場としても活用してもらえればと思っています。また、今回は全員男性参加者でしたが、最近ゴルフを本格的に始めた女性研修医の先生方が数名いるようですので、次回はぜひ参加をお待ちしております。

研修医の声

今回は、宮崎県外の医学部・歯学部を卒業された 1年次研修医の先生方にコメントを頂きました!

〔 宮田 梨緒 先生 〕



4月に入職して、知り合いがほぼいない環境で馴染めるか不安でしたが、想像以上に優しい上級医の先生方、愉快的同期に囲まれて楽しい日々を送っています。この3ヶ月、内科(感染症・膠原病・呼吸器)で主に病棟の入院患者さんを受け持ち、上級医の先生にじっくり指導いただきながら診療にあたっています。手技についても毎日のように静脈・動脈採血をしたり、機会があればエコー、胸腔・腰椎穿刺や気管支鏡をしたりと積極的に経験を積ませていただいています。また、6月初旬には麻酔科学会に参加させていただき、多くを学び、将来の進路についても考えることができました。ついでに現地での観光やグルメもしっかり楽しみました。こうした学会参加の機会が多いことも大学の研修の利点の一つです。大学も市中病院も回れて、じっくり様々な経験を積むことができる宮崎大学の研修、とてもおすすめです!県外の医学生の方もぜひ観光がてら遊びに来てください!

〔 吉村 衣純 先生 〕



研修医になって早くも3ヶ月が過ぎようとしています。私は現在宮崎大学医学部附属病院の呼吸器内科で研修をしています。少しずつ仕事にも慣れ、毎日楽しく充実した日々を過ごしています。さて、7月から本院のマッチングの面接が始まるということで、宮大病院での研修のよいところを挙げていこうと思います。まず1つ目は同期が多い点です。今年度は歯科研修医を含めて26人の1年次研修医がいます。相談しあったり、次に回る診療科の情報をもらったりとても心強い存在です。2つ目は先生から指導が手厚い点です。診療科ごとに行われるレクチャーはもちろん、月に2回、卒後臨床研修センターで薬や検査についての基本のレクチャーを受けることができます。また、7月からは希望すると救命救急センター週末当直研修に入ることもできるため、自分のペースでステップアップできることもよい点です。ぜひ宮大病院と一緒に研修をしましょう。

〔 根井 晴樹 先生 〕



はじめまして、1年次研修医の根井晴樹と申します。初期研修が始まって3ヶ月が経とうとしていますが、患者さんの診療に携わる中で自らの不見識を痛感しつつ、上級医の先生方から多くを学ばせて頂く日々を送っています。もうすぐマッチングの面接も行われる時期で、6年生の皆様は研修先選びで悩まれてる方も多いかと思います。私自身は県外の大学出身ですが、縁あって宮大病院を研修先へ選ばせて頂きました。決め手としては、病院見学をした際に教育熱心な先生が多いと感じたのが主な理由です。実際に研修をする中で、日々の診療や患者プレゼン、各手技の実践に際し、指導医の先生方に手厚い指導を頂いており大変ありがたく感じております。また、研修医向けのセミナーが豊富なことや、プログラムの自由度が高いこと(県内他施設での研修もできるなど)も宮大病院での研修の良い点だと思います。学生の皆様も研修先を決める一助になれば幸いです。

〔 日高 恵介 先生 〕



私が宮崎大学医学部附属病院の歯科口腔外科を研修先へ選んだ理由は、地元宮崎の穏やかな気候の下、地域医療に少しでも貢献したいと考えたからです。歯科大学の口腔外科では抜歯手術がメイン手術になりますが、宮崎大学の口腔外科では良性・悪性腫瘍切除手術、頸部郭清手術、それに伴う形成外科との合同再建手術、口唇口蓋手術、また、顎骨骨折等の突発的な手術など口腔に関するあらゆる疾患に対応しており、教授をはじめ上級医の方々から日々勉強とオペをこなしていく姿に憧れを抱いております。また、3ヶ月間に及ぶ一般歯科医院での研修も用意されているため、齶蝕治療や保存修復等の一般歯科治療についても学ぶ事が出来ます。休日には医科の研修医の先生達と飲みに出かけたり、趣味のサーフィンに出かけたりと充実した日々を過ごせており、1日でも早く口腔外科の認定医を取得出来る様にこれからも研鑽を積んでいきたいです。